

はじめにお読みください

# Startup Guide

スタートアップガイド

iStorage NS250

Windows Storage Server

2006年 7月 第2版

箱を開けてから装置が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

**安全に関するご注意**

装置をセットアップする前に「ユーザズガイド」の「安全にかかわる表示について」「使用上のご注意」—必ずお読みください—をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

**警告**

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

**注意**

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

ステップ1

## 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体×1
- フロントベゼル ×1
- 電源コード ×1
- ラックレール×2
- ネジ(A)(M4平ネジ) ×5
- ネジ(B)(M6ネジ) ×9
- ネジ(C)(M3ネジ) ×4
- コアナット(M6) ×9
- マウンティングイヤー ×2 (左×1、右×1)
- ゴム足 ×6
- ソフトウェアパッケージ式 ×1\*1
- お客様登録申込書 ×1
- 保証書 ×1\*2
- 使用上のご注意×1
- ご使用時の注意事項×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- SATA2 Array Update CD×1\*1

\*1 添付のCD-ROMやDVD-ROMは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

\*2 梱包箱に貼り付けられています。

ステップ2

## ラックを設置する

本体はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックか、卓上に設置して使用します。ラックに設置する場合は、次の条件を守ってラックを設置してください。

**参照**

「ユーザズガイド」の2章「セットアップ」を参照してください。

以下の環境条件を満たした場所

室内温度：10℃～35℃\*  
湿度：20%～80%

前後1m以上、左右60cm以上、高さ40cm以上のスペースがとれる場所

複数のラックを設置するときは必ず連結させる

添付の電源コードが届く範囲にあるコンセントまたはUPS

AC100V、平行二極アース付きのコンセントまたはUPS

水平でじょうぶな床の上

\* 室内温度15℃～25℃の範囲が保てる場所での使用をお勧めします。

ステップ3

## 本体を設置する

本体を卓上またはEIA規格に適合した19型(インチ)ラックに設置します。

**参照**

「ユーザズガイド」の2章「セットアップ」を参照してください。

～卓上に設置する場合～

以下の環境条件を満たした場所  
<動作時>  
室内温度：10℃～35℃\*  
湿度：20%～80%

\* 室内温度15℃～25℃の範囲を保てる場所での使用をお勧めします。

本体の前後に150mm以上のスペースがとれる場所

本体底面に滑り止めの「ゴム足」(6個)を取り付ける(フロントパネルの付け根から10cm内側で本体の両端から10cm内側と中央に各1個、本体の背面から10cm内側で本体の両端から10cm内側と中央に各1個)。

床の上、または水平でじょうぶな机や台の上

AC100V、平行二極アース付きのコンセント

添付の電源コードが届く範囲にあるコンセント

ほこりの少ない、きれいで整頓された部屋

～ラックに設置する場合  
(プラスドライバ・マイナスドライバが必要)～

作業の流れ

- ① インナーレールの取り付け
- ② マウンティングイヤーの取り付け
- ③ コアナットの取り付け
- ④ ラックレールの取り付け
- ⑤ 本体の取り付け
- ⑥ 本体の固定
- ⑦ フロントベゼルの取り付け

取り付け部品の確認

- ① ラックレール
- ② マウンティングイヤー(左)
- ③ マウンティングイヤー(右)
- ④ コアナット
- ⑤ ネジA
- ⑥ ネジB
- ⑦ ネジC

ご購入いただいた時期によって、ラックレールの形状が異なる場合があります。この場合、一部の取り付け/取り外し方法が異なります。お手持ちのラックレールをご確認いただき、それぞれのラックレールに対応した方法で、取り付け、取り外しを行ってください。

ステップ3

1

ラックレールからインナーレールを取り外し、インナーレールのネジ穴と本体側面のネジ穴を合わせ、最前部と最後部のネジ穴2カ所をネジAで固定する。

2

ネジC(各2本)でマウンティングイヤー(左)およびマウンティングイヤー(右)を取り付ける。

3

本体を取り付ける位置(高さ)を確認してからコアナットをラックフレームのスロット(角穴)に取り付ける(前面(左右とも)および背面(左右とも)に各2個ずつ)。

4

ラックの奥行きに合わせてアウターレールを引き延ばし、コアナットを取り付けた位置でラックレールの前後の長さを調節する。

5

ラックレールを支えながらネジB(左右各4本)で固定する。

6

ラックレールのアウターレールを手前に少し引き出し、ラックレール後方の2カ所のネジを締めて、完全にラックレールの長さを固定する。

7

本体前面が手前になるように持ち、本体側面のインナーレールをラックに装着したラックレールに差し込む。

8

本体の前面をゆっくりと押し、ラックへ完全に押し込み、マウンティングイヤーの手ネジでラックに固定する。

9

フロントベゼルを取り付ける。フロントベゼルの両端のイジェクターレバーを内側へスライドし、本体のフレームに引っかけるようにしながら取り付ける。

ステップ4

## ケーブルを接続する

本体にネットワークケーブルと付属の電源コードを接続します。

詳しくは「ユーザズガイド」の2章「セットアップ」を参照してください。

重要

- 本体に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、複数のケーブルを接続するときは、まずLANポート1のみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。

ステップ5

## 電源をONにする

電源をONにします。

1

本体のLANポート1コネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。

2

POWERスイッチを押して、システムの電源をONにする。

システムの起動後、ビーブ音のパターン(ビーブ音を2回長く4回短く)を4回繰り返したら、正常に起動したことになります。

引き続きシステムのセットアップをします。  
裏面をご覧ください。



▶▶▶▶▶ 表面からの続きです。

## ステップ6

# 初期設定をする

管理PCからリモート接続できるようにするために、本装置の初期設定を行います。



出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

本体内蔵のLANポート1に割り当てる情報として、「コンピュータ名」、「IPアドレス\*」、「IPアドレス用のサブネットマスク\*」を用意してください。

\* IPアドレスとサブネットマスクは、設定およびリモートデスクトップ接続を行うWindowsマシン(管理PC)と同じネットワークになる値にしてください。

\* 設定を行うWindowsマシンおよび管理PCに、リモートデスクトップがインストールされていない場合は、事前にリモートデスクトップのインストールを行ってください。リモートデスクトップは以下にてダウンロードできます。  
<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=80111f21-d48d-426e-96c2-8aa2bd23a49>

\* "C:\Program Files¥Remote Desktop"以外のフォルダにリモートデスクトップをインストールしている場合は以下の設定を行ってください。

初期設定ツールを起動した際にWindowsフォルダに生成される"iStorageNSSetup130.ini"というファイルを開き"RdesktopPath"に記述されたファイルパスを正しいリモートデスクトップのインストールフォルダに変更してください。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にあるWindowsマシン(Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003)と添付の「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」を使用します。



詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。

「EXPRESSBUILDER(SE) CD-ROM」の¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

① 任意のWindowsマシンのCD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER (SE)CD-ROMをセットする。

Autorun機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場合は、CD-ROMドライブ内の「¥MC¥1ST.EXE」を実行してください。

② [ソフトウェアのセットアップ]から[初期設定ツール]をクリックする。

初期設定ツールが起動し、エンドユーザライセンス契約(EULA)の確認画面が表示されます(初回のみ)。

③ EULAを確認の上、同意する場合は[はい]をクリックする。

自動発見ウィンドウが表示されます。

④ [開始]をクリックする。

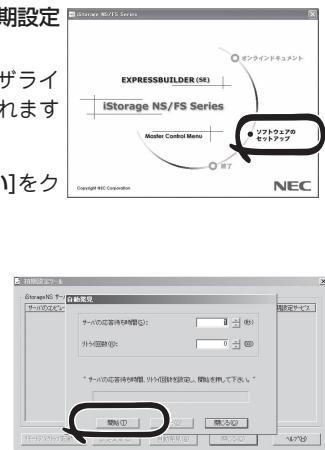
iStorage NSの一覧が表示されます。

⑤ リモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」または「不可」に変わったら、本装置を選択し、[設定変更]をクリックする。

設定変更画面が表示されます。



DHCPサーバが存在する場合、リモートデスクトップ起動が「可」となり、リモートデスクトップ接続し設定を変更することができます。初期設定ツールからの設定変更を中断した場合、しばらく間を置いた上で再度自動発見を行ってください。



⑥ [コンピュータ名]欄にコンピュータ名を入力する。



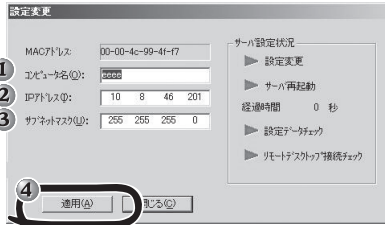
ネットワーク上に同一のコンピュータ名を持つマシンが存在すると、設定変更後の再起動ができなくなります。コンピュータ名が重複していないことを確認してください。

⑦ [IPアドレス]欄にIPアドレス、[サブネットマスク]欄にサブネットマスクを入力する。



- IPアドレスの設定に間違いがあると、設定変更後の再起動や、管理PCからのリモートデスクトップからの接続ができない場合があります。IPアドレスに誤りがないことを確認してください。
- 設定するIPアドレス/サブネットマスクは、初期設定ツールを動作させているマシンと同一ネットワークになるように設定してください。

⑧ [適用]をクリックする。



⑨ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。サーバ設定の変更が始まり、サーバ設定状況の内容が順次更新されます。

⑩ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

以上で、本装置の初期設定が完了し、管理PCからのリモートデスクトップ接続ができる状態になりました。



初期設定ツールにおいて、設定変更ができないなど、問題が発生した場合は、初期設定ツールのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。

## ステップ7

# 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じサブネット上にあるクライアントマシン(Windowsマシン)で必要事項を設定します。



設定方法の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

① クライアントマシン上でリモートデスクトップを起動する。

② 接続先に本装置のコンピュータ名を入力する。コンピュータ名での名前解決が出来ない場合は、コンピュータ名ではなくIPアドレスを入力してください。



③ ユーザー名に「Administrator」、パスワードに本装置に登録したパスワードを入力して[OK]をクリックする。

出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガイドに記載されています。

④ ユーザーズガイドや注意制限事項、および管理者ガイドを参照して必要事項を設定する。



以下の設定を行ってください。

- 日付と時刻の設定
- サーバー名(コンピュータ名)の設定(初期設定ツールでコンピュータ名を設定済みの場合は不要)
- サーバーIDメンバ(WORKGROUP/ドメイン参加)の設定
- AppleTalk名
- シャドウ コピーの設定(本機能を使用する場合のみ)

## ステップ8

# セキュリティのセットアップをする

本装置のセキュリティを保つために次のセットアップを必ず行ってください。

### パスワードの変更

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガイドに記載されています)。初回のリモートデスクトップ接続時に必ず管理者パスワードを変更してください。



本装置をWORKGROUP環境にしてパスワードを変更してください。

## ステップ9

# ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

### ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的にサーバの電源をOFFにしたり、サーバ監視用コンピュータやページャへの通報などを行うユーティリティです。



設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC(ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから下図のように確認することができます。

### ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]→[ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

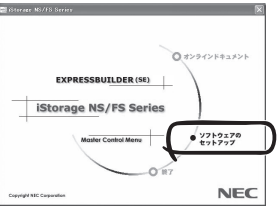
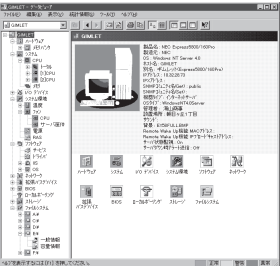
### iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、本製品の管理ツール(WebUI)が起動できます。EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]→[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。



iStorage NS連携モジュールはシステムに「通常使用するブラウザ」として登録されているブラウザを起動するため、Internet Explorer 6.0以降のブラウザを事前に設定しておく必要があります。

以上ですべてのセットアップが完了です。



# お読みください

### OS再インストールの前に

OSの再インストールを行うと、ハードディスクドライブ上のデータはすべて削除されます。再インストールを始める前に、必要なデータをバックアップすることをお勧めします。

### システムのパフォーマンスを活用するために

N8103-102 増設バッテリーを搭載している場合は、本装置のパフォーマンスを最大限に活用するために、ディスクアレイコントローラのライトキャッシュの設定を「Write back」にする必要があります。特にNFS機能を使用するにはこの設定は有効ですので、「Write back」に設定することをお勧めいたします。

### ディスクアレイ構成を変更した場合

ディスクアレイ構成を変更した場合は、ユーザーズガイドを参照して、ディスクアレイコンフィグレーション情報のバックアップを行ってください。

### 電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

### 本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を使ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

### 本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

### 管理者ガイド

<http://www.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html>

### ユーザーズガイド

<http://www.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html>

# iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しており、技術サポートを有償にてサポートいたします。本サービスをご契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWWWサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのバージョンアップ/リビジョンアップ情報などもご提供いたします。

「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

<http://www.sw.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

### NEC iStorageシリーズのホームページ

<http://www.express.nec.co.jp/products/nas/index.html>



### 商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2006

NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。  
このマニュアルは再生紙を使用しています。